徳之島虹の会事務局　2021 年 5 月発

10th Anniversary

虹の会会報誌 10 周年特別号

徳之島虹の会　設立 10 周年

THANK YOU! 10th ANNIVERSARY

祝

奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島

世界自然遺産　登録勧告！

理事長　政　武文

徳之島虹の会は2011年設立以来、今年で10 年目の節目を迎えました。活動は青少年健全育成、島の伝統文化継承、自然保護やエコツアーガイドなど、様々なことに取り組んできましたが、このように精力的に活動ができますのも、ひとえに、会員の熱い思いと、私たちの活動にご賛同くださり、応援、ご支援くださる大勢のサポーターの方々のおかげだと厚く感謝申し上げます。

近年は、世界自然遺産登録を推進する自然保護活動を重点的に取り組んでまいりました。時間がかかりましたが、5月10日、IUCN から「登録」の勧告が出され、我々の活動がようやく実を結んだと会員一同喜んでいます。徳之島虹の会は今後も、「世界に誇れる島の自然は、私たち島民の手で守り、100年後、1000年後の未来にバトンを渡すんだ」との思いで活動してまいります。引き続き皆様の応援、ご支援をよろしくお願いいたします。

副理事長　松村　博光

10 年というと長いように聞こえるが、当会の活動は非常に幅広く内容が濃いため、「一気に駆け抜けてきた」というのが正直な感想です。スタートからしっかりとしたビジョンを持って活動してきたので、個人的には長年取り組みたかった不法投棄問題や子供たちへの伝承活動など、やりたいことを取りこぼすことなくやっていけていると思っています。

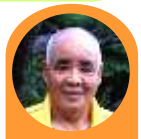
世界自然遺産登録を控え、今後は世界との交流も盛んになってきます。島の未来を担う若い人たちには、広い視野をもって故郷の「徳之島」を見てほしいし、先人から長い年月をかけて守り受け継がれてきた環境を、自分たちがどう繋いでいくかをしっかりと考えてほしいと思います。

初代理事長
松田清藏

徳之島虹の会創立10周年、誠におめでとうございます。
私が役場を退職して間もない頃、様々な地域活動に取り組んでいた方々がNPO法人を立ち上げることになり、初代会長を依頼され「私で良ければ。」と引き受けました。
在任中を思い起こせば、一番心に残っていることは、2014年4月、東京の新宿御苑にて自然環境保全活動の実績が認められ、環境大臣表彰を受賞したことです。
翌年の2月には県知事表彰を受賞し、たった3～4年の短い活動で2年連続、身に余る栄誉を賜り、諸先生方や地域の方々のご指導とご支援の賜物だと、大変有り難く感謝すると同時に、身が引き締まる思いがしたものでした。
これからも虹の会の活動を地道に継続していくことが、島の素晴らしい宝を未来の世代に引き継いでいくことに繋がると確信しています。今後益々のご活躍を期待しています。

第二代理事長
行山武久

設立からもう10年と聞いて驚いています。
しかし、確かにそうかもしれません。改めて思い起こせば数えきれないほどの思い出がありました。その中で深く心に残る思い出としては、2016年9月、東京のど真ん中で自然写真展「命つながる徳之島」をさせていただいたことです。
天下の一流企業三井製糖株式会社本社での写真展では、雑賀大介社長をはじめ幹部役員のみなさまがお揃いでご来場くださり大変ありがたく感激しました。三井製糖株式会社は、設立当初から継続してご支援くださっている当会の応援団長です。
このご縁に感謝しつつ、ご期待に応えられる活動を今後も重ねていきたいと思っています。



理事
美延治郷

十数年前から島の子どもたちの健やかな成長を願い、青少年健全育成活動の重要性を認識して活動していた個人が集い仲間になりました。それぞれの得意分野を活かした活動がまとまり、幅を広げていくことで、より一層充実した活動に繋がればとの思いで徳之島虹の会を設立し、気が付けば10年が経っていました。
現在は、自然保護活動が活動の中心となり、世界自然遺産登録を推進していますが、世界自然遺産の理念は世界の宝を保全し未来に伝えることをうたっています。私たちの先祖が守り繋いできた貴重な宝を、私たちも100年1000年と未来の子孫へしっかり繋いでいきたいものです。

賛助会員
林美恵子

虹の会創立10周年、おめでとうございます。
私が徳之島に戻って12年。せっかくなら『島ならではの子育て』がしたいと思い、設立当初から虹の会の様々な活動に参加させていただきました。活動の中での一番の思い出は、子どもたちとの自由研究です。連日夜遅くまでサポートしていただきました。
現在、息子達は県外で生活をしていますが、帰省時は必ず自然保護パトロールに参加し、生き物たちの元気な様子を確認してから戻っていきます。
いつも息子達の成長を見守っていただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

鹿児島大学教授
宮本旬子

鹿児島環境学研究会発起人O氏から、徳之島について何か書け、と言われて困り果てた私は2011年1月の徳之島フォーラムでパネリストの松村博光さんに相談しました。仲間を紹介するので春に来なさい、と言われ、東日本大震災直後の3月13日、天城岳山頂で行山さん、中村さん、美延さん、松田さんらから NPO 結成にかける熱い思いを伺いました。その話を『鹿児島環境学 III』に寄稿して以来10年、植物にしか関心がなかった私は皆さんから「島」について多くを学ばせていただきました。世界自然遺産登録が成れば、基礎植物学の水先案内人としての公的お役目は終わりますが、島の人と自然に心を寄せる者として今後ともお付き合いいただければ幸いです。

みんなの10年　虹の会メモリー

環境省
初代徳之島自然保護官
渡邊春隆

設立10周年、まことにおめでとうございます！
2013年から2017年までの徳之島勤務の間、虹の会には公私ともに本当に本当にお世話になりました。虹の会への感謝の言葉、そして虹の会の多大な功績は、このスペースではとても語りきれません。
この10年間、良いことばかりではなく数々の困難があったと思いますが、虹の会は常に前向きで、様々な人・事をすごい力で引っ張ってくれました。今回、10周年の節目を迎えられますが、次の10年いや100年後も、元気で前向きな虹の会が、徳之島を牽引していくことを祈念しております。（とは言いつつも、たまにはゆっくり休んでくださいね）

環境省
第二代徳之島自然保護官
沢登良馬

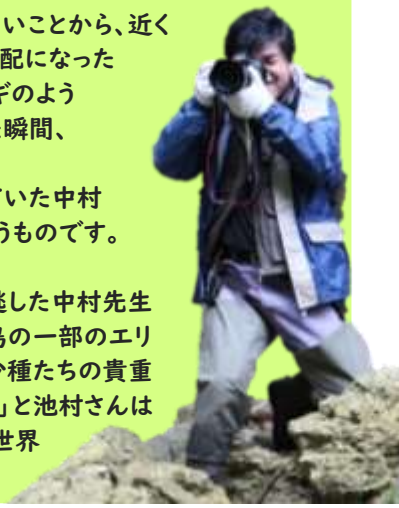
このたびは、虹の会創立10周年まことにおめでとうございます。
私は2017年から2020年までの3年間、環境省の2代目レンジャーとして徳之島で勤務していました。奄美群島国立公園の記念式典、2度にわたる IUCN 現地視察、日々のパトロール、希少動植物の調査、（私の引っ越しの手伝い）など、仕事の大小・公私に関わらずいつも虹の会の皆様に支えていただきました。受けた数々の恩義には、いくら感謝してもしきれません。
島の宝が世界の宝となり、徳之島が注目されればされるほど虹の会への期待が高まります。同時にその分だけ、虹の会にかかるプレッシャーや負担も大きくなると思います。根を詰めすぎず、時には肩の力を抜いて自分たちが守ってきた豊かな自然に癒やされながら、日々の活動を頑張っていただきたいです。虹の会の益々のご発展を心より祈念いたします。

環境省
現徳之島国立公園管理官
福井俊介

虹の会が歩んできた10年間は、まさに徳之島における自然環境問題の転機となった10年だったと思います。虹の会が刻々と変化する徳之島の自然を感じとってきた結果、これまで表面化されてこなかった様々な課題も浮き彫りになりましたが、一方で保護管理体制も強化されてきました。時にはメッセンジャーとなり後世の世代へと徳之島の自然の価値を伝え、育ててきました。簡単な道のりではなかったと思いますが、強靭な精神で徳之島の動植物や子ども達を見守ってきた結果が確実に実を結びつつあると感じています。今後虹の会が徳之島のあらゆる生物にさらに美しい虹をかけてくれることを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

故中村正弘先生と池村茂さんとの思い出（筆　関延代）

10 周年記念号に「ぜひ載せたい」と、事務局長と意見が一致したのが、故中村正弘先生のことでした。
中村先生は、徳之島町花徳で歯科医をする傍ら、島の伝統文化や希少な動植物の写真を撮り続け、島内外に広く発信することで地域の活性化に大きく貢献された方です。当会の活動にも多大な影響を与え、メンバーと共に様々な活動に取り組みました。
2014 年3月、当時新聞記者をしていた私は、理事の池村茂さんと中村先生の話題を新聞のミニコーナーに掲載しようと取材をしていました。内容を簡単に紹介すると…
『池村さんが夜間パトロールに出かけたある日、林道で中村先生の車を発見します。車内に姿が見えないことから、近くで写真を撮影していると判断し、懐中電灯を消して先生を探しました。ところが先生の姿はどこにもなく、心配になった池村さんは、電灯をつけ先生を呼びながら森の中に入ります。すると、目の前に半透明の巨大な蝶のサナギのような塊が現れました。暗がりでごそごそと動く様子に、パニックになった池村さんが「うわぁー！」と声を上げた瞬間、同時に響いたのは中村先生の叫び声でした。
巨大なサナギは、トクノシマトゲネズミの交尾の瞬間を撮影しようと、カモフラージュをしてカメラを構えていた中村先生でした。結局、二人の声に驚いたトゲネズミは逃げてしまい、貴重な瞬間は撮影できなかった…』というものです。残念なことに、私が先生に話を聞こうと電話をしたその日が、先生が帰らぬ人となった日でした。
今回、池村さんと当時の思い出話をすると、後日談がありました。トゲネズミの世界初の交尾の記録を逃した中村先生に責任を感じた池村さんは、それまで以上に森へ通うようになりました。そしてトゲネズミをはじめ、徳之島の一部のエリアで確認されている足先の白いアマミノクロウサギなど、貴重な写真の撮影に成功しました。実はこの希少種たちの貴重な姿をとらえたカメラこそ、形見分けでいただいた先生の愛用品でした。「先生が今でも助けてくれている」と池村さんは言います。私たちの活動を天国から見守ってくれている中村先生。活動 10 周年を迎える記念すべき年に世界自然遺産登録が実現することを、誰よりも喜んでいるのが先生だと思います。



虹の会　10 年間のあゆみ

設立から 10 年間、見開き 2 ページでは収まり切れないほどたくさんの出来事がありました。
抜粋して振り返ってみたいと思います。

2011

総会員数
27 名

NPO 法人徳之島虹の会　設立　4月13日

◀ 2010 年 8 月 30 日　設立総会の様子

　島の子どもたちの健やかな成長と、島の豊かな自然をいつまでも残したいという想いで発足しました。発足から 10 年、自然保護活動のほか、島の歴史や文化を学び、伝え、つないでいく活動に取り組み続けています。

金見海岸清掃会　4 月 17 日

　初の虹の会主催の清掃会。約 10 名で清掃を行いました。・・・・・・・・・・・・▶

希少植物盗掘犯逮捕協力で警察署長から感謝状　5 月 12 日

　約 2,000 株もの盗掘事件をきっかけに、徳之島三町「希少野生動植物の保護に関する条例」が制定されました。

世界自然遺産登録ってなあに？ミニ講座　11 月 10 日　於：徳之島町文化会館

緊急講演会「アマミノクロウサギとトクノシマトゲネズミの今とこれから」

12 月 25 日

　森林総合研究所・山田文雄先生と初めて出会い、計画・準備・本番まで３日間で緊急開催した講演会。急な計画にもかかわらず、会場は満席となりました。

2012

総会員数
29 名

元気土づくり実演会・食育講演会「土の元気　野菜の元気　人の元気」

1 月 16-17 日　於：亀徳幼稚園・母間校区池間公民館　講師：吉田俊道先生（大地といのちの会理事長）

義名山の森自然観察会

1 月 21 日　於：伊仙町義名山の森　講師：寺田仁志先生（鹿児島県埋蔵文化センター所長）

犬田布岳登山道清掃会　4 月14日

　大久保町長をはじめとする伊仙町役場のみなさんの他、約 50 名の参加者が集まりました。

徳之島・ネパール国際交流会　4 月16-23 日（徳之島三町との共催事業）

環境省野生生物調査　定点カメラ保守・管理業務開始　（至現在）

出前授業「世界の森と徳之島の森　～森の世界旅行にご案内～」

6 月 10-13 日　於：島内小学校6校　講師：山田勇先生（京都大学名誉教授）▶

徳之島の自然フォトコンテスト「生物多様性写真コンテスト」　開催

写真展「いのちつながる徳之島～生物多様性を見る～」　開催

10 月27 日-11 月 30 日　於：ほーらい館、徳之島町文化会館、ユイの館

　フォトコンテストには島内在住の 22 名から 200 点を超える写真が寄せられ、徳之島三町の会場を巡回した写真展には、合計で 2,000 名を超える来場者がありました。

2013

総会員数
53 名

「鹿児島の生物多様性を語る～自然環境保全活動発表会～」（事例発表で登壇）

1月26日　於：かごしま県民交流センター

第1回　環境省ノネコ捕獲調査　1月20日-3月2日

徳之島の自然遺産登録に向けての勉強会　3 月 8 日　於：亀津南区

2014

総会員数
61 名

井之川岳登山道清掃大作戦　3 月 17 日

三町役場や県、島内の多くの事業所から約 90 名の参加者が集い、井之川岳山頂の長年にわたり蓄積されたゴミを担ぎ下ろしました。

集落出前講座「奄美・徳之島はなぜ世界自然遺産候補地になったのか」

3 月 24-25 日　於：亀徳・阿田野平団地内集会所、奄美青年会議所　講師：宮本旬子先生（鹿児島大学）

手々集落勉強会　4 月 22 日（徳之島町企画課との共催）

講演会「世界で徳之島だけに住む動物達～トクノシマトゲネズミ進化の不思議～」

5 月 1 日　於：ユイの館　講師：城ヶ原貴通先生（岡山理科大学）

出前授業「水と森・みんなでモリモリサイエンス～共生生物としてのシロアリ～」

5月 12-14 日　伊仙中学校他、4会場にて出前授業開催

世界自然遺産勉強会　5 月 22 日　於：西犬田布　（伊仙町との共催）

「奄美群島自然共生プラン推進本部会議」　6 月 13 日　於：大島支庁　（事例発表で登壇）

「いのちつながる徳之島」写真展　in　東京　開催

11月2-16日　於：環境パートナーシッププラザ（池袋・環境大学）

前年に島内三町で開催された写真展が、東京・鹿児島へ巡回しました。会場には連日多くの方が訪れ、東京会場では 3,000 人を超える来場者をお迎えしました。

来場者アンケートでは、「徳之島へ行きたいと思いましたか」の項目で、「ぜひ行きたい・行ってみたい」の回答が 100%となりました。

徳之島の自然図鑑『いのちつながる徳之島』　刊行

1,944 円（税込）
好評発売中

鹿浦川清掃大作戦　2 月 2 日（奄美群島広域事務組合との共催）

地域住民のみなさんをはじめ、三町役場のみなさんなど、100 名を超える参加者が集まりました。

鹿児島県大島支庁長
あまみ地域づくり褒賞　受賞　2月28日

自然環境功労者環境大臣表彰　受賞　4月23日 ▸

面縄海岸清掃大作戦　7 月 13 日

幼稚園生から 80 歳まで、島内中から 120 名を超える参加者が集まりました。▸

景観セミナー　in 伊仙町（パネリストとして登壇）

10 月 5 日　於：ほーらい館

徳之島の美しく豊かな自然を未来につなぐシンポジウム
アマミノクロウサギがあぶない！～みんなで考えよう徳之島の今と未来～

11月 8 日　於：ほーらい館

30 もの共催・後援団体のご協力を得て、2 か月に渡る実行委員会の準備の末に開催されました。400 人もの参加者が集い、大成功を収めました。

【パネラー】（所属は当時のものです）

岡山理科大学　城ヶ原貴通先生（トゲネズミ）
鹿児島国際大学　舩越公威先生（コウモリ）
鹿児島大学大学院　宮本旬子先生（植物）
森林総合研究所　山田文雄先生（アマミノクロウサギ）
東京大学医科学研究所　服部正策先生（ハブ・は虫類）

「奄美・琉球世界自然遺産」候補地として暫定リスト記載決定　12 月 26 日

2015

総会員数
61 名

講演会「意外と知らないネコのはなし」

1 月10-11 日 於：天城町役場他島内 4 ヶ所 講師：伊藤圭子獣医師

徳之島の自然をトコトン語ろう会 1月 15 日 於：徳之島町Aコープ会館

研究者の方をお招きして島の自然に関するご講演をいただき、行政の方、個人で自然保護活動をされている方、地元の方など、様々な立場の方々で活発な意見交換ができました。

鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体 優秀賞受賞 2月 6 日

天城岳林道（山クビリ線）ボランティア清掃大作戦 2 月 14 日

島内中から 110 名もの参加者が集まりました。2t トラック 2 台分のゴミを回収したほか、要注意外来植物の伐採（軽トラック 1 台分！）、クロウサギの糞調査（6,150 個！）を実施しました。

環境省ノネコ対策事業 本格スタート （至現在）

この前年、環境省によってノネコのフン採取および調査が行われ、1 頭のノネコの 3 日分のフンから、トゲネズミが 4 頭、アマミノクロウサギが 1 頭見つかるという結果が。現在も続いているノネコ対策事業はこの年から始まりました。これまでに何百頭ものネコを林道で捕獲しましたが、ノネコによる希少野生生物への被害はまだまだなくなりそうにありません。

【会員限定】「戦後70周年 おじいちゃん、おばあちゃんから昔の知恵を学ぶ」 ▼

6 月 7 日 於：井之川公民館

世界自然遺産勉強会

9 月 6 日 於：ほーらい館癒てぃなホール 講師：星野一昭先生（元環境省局長）

第21回 野生生物と社会学会 11 月21-23 日 於：琉球大学

テーマセッション （発表者：池村茂、美延睦美）

「徳之島の特異的な自然誌と生き物文化誌 ～世界自然遺産登録後における自然資源活用の可能性～」

2016

総会員数
60 名

植物の方言名＆利用方法調べ

7 月 30 日 於：三京公民館・三京林道 講師：宮本旬子先生（鹿児島大学）、田畑満大先生

アマミノクロウサギ交通事故防止看板設置 9 月 4 日

島内の小中学校から標語を募集して、手作り看板を制作しました。 ▸

徳之島の生物多様性写真展

9 月 22-28 日 於：三井製糖本社ビル（東京・日本橋） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・▸

IUCN アルグレン博士と虹の会との意見交換会 10 月 16 日

2017

総会員数
74 名

ボランティア清掃大作戦＆自然遺産交流会 2 月 19 日

春季合宿に訪れた明治大学ローバースカウト部さんの提案で、当時の徳之島高校３年生と虹の会が賛同して実施。高校生が実行委員会を設立し、明治大学生・徳高生のほか、全島から 350 名を超える参加者が集まりました。

「奄美群島国立公園」誕生 3 月 7 日

奄美群島国立公園指定記念イベント「未来へつなぐいのちのバトン」▸

4 月 22 日 於：徳之島町文化会館

金見海岸ボランティア清掃会 6 月 12 日

全島各地から 100 名を超える参加者が集まり、軽トラック 10 台分のゴミを回収しました。

全島一斉ボランティア清掃会 8 月 20 日

世界自然遺産登録に向けた IUCN 現地調査を目前に控え、三町各地で 650 名を超える島民が清掃に参加しました。

IUCN 視察 10 月 14 日

２名の専門家が来島し、剥岳林道を案内しました。・・・・・・・・・・・・・・▸

講演会「環境パフォーマー らんま先生がやってくる！」

1 月 28-29 日 於：ほーらい館 講師：らんま先生（環境パフォーマー）

2018

総会員数
86 名

JICA 国際交流「住民主体のコミュニティ開発」研修受入れ開始　2 月 8 日

金見海岸清掃会　5月 13 日

出前授業「世界自然遺産勉強会」

6 月 9 日　於：糸木名小学校　講師：城ヶ原貴通先生 ▸

外来種駆除ボランティア　（徳之島建設業協会主催）12 月 19 日

徳之島建設業協会長さんの相談を受けて実施。建設業協会から 110 名を含む、総勢 170 名が参加し大規模な作業が実施をしました。2t ダンプ 52 台分・総量 13t もの外来種を駆除しました。・・・・・▸

アマミノクロウサギ　交通事故多発

この年、過去最高の 19 頭が被害に…。住民の通報を受けて対応にあたりました。

2019

総会員数
100 名!

環境省　外来種分布調査

インドネシア国立公園視察団　意見交換会＆エコツアー　4 月 20 日

賛助会員クルージングツアー　5月26日

次世代育成事業「夏休み！タキンシャ探検」

7 月 28 日　於：徳之島町・大瀬川上流　講師：鈴木廣志先生（鹿児島大学）・・・・・▸

徳之島ボランティア大清掃会　9 月 27 日

徳之島三町・徳之島建設業協会・観光連盟・虹の会の主催により、全島規模の清掃会を実施。19 もの団体から約 300 名の参加者が集まりました。

IUCN 視察　10 月 8 日

専門家 2 名が来島し、前回同様剥岳林道を案内しました。

世界自然遺産シンポジウム in 徳之島 ～親子で考える世界自然遺産～（運営協力）

12 月 7 日　於：徳之島町文化会館

2020

総会員数
109 名

あましん地域貢献賞（奄美大島信用金庫）受賞　3 月 3 日

剥岳植物調査・清掃（3 月 6 日）　井之川岳空き瓶回収（4 月 17 日）　金見崎海岸清掃会（5 月 31 日）

コロナ禍でさまざまなイベントが中止に…。野外での植物調査や清掃活動に精が出ました。

ハブとの共存に関わる総合調査事業スタート（鹿児島県より受託）6 月～

徳之島高校出前授業　ハブについての特別講座

6 月 17 日　講師：服部正策先生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▸

島の宝「自然と文化を伝えるカムィヤキの森」エコツーリズム推進事業

環境省補助事業採択　事業費 630 万円

伊仙小学校家庭教育学級　剥岳林道散策 7 月 23 日 ・・・・・・・・・・・・・・・・・▸

塩田県知事と語る会にて、徳之島の自然保護行政強化を要望　10 月 24-25 日

2021

5月現在
総会員数
110 名

カムィヤキの森エコツアー　1 月 9-10 日

◂ 2020 年度に取り組んでいたカムィヤキの森整備事業の集大成として、島民の皆様を対象にエコツアーを実施。予想をはるかに上回る数のお申し込みをいただき、80 名もの参加者が集まりました。コロナ感染防止対策も万全を期して、参加者のみなさまにも楽しんでいただくことができました

金見海岸清掃会　3 月 20 日

島中から 230 名もの参加者が集まり、午前中 2 時間余りの作業で、4t ダンプ 4 台＋2t ダンプ 1 台分のブイと、軽トラック 26 台分の漂着ゴミを回収することが出来ました。 ▸

「奄美・琉球世界自然遺産」登録勧告　5 月 10 日

登録勧告はされたものの、まだまだ課題は山積みです。今年もますます忙しい 1 年になりそう。
この次の 10 年も、引き続きよろしくお願いいたします！

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産

宝（ほー）ランド祭り 計画中！

【ほーらんど】島の方言で「うれしい」という意味。
「宝 Land」と掛けています。

徳之島には、３万年前から人が暮らした文化があります。

そしてその暮らしを支え続けてきた美しく豊かな自然は、世界的な価値が認められ、世界の宝になります。

私たちの先へ続く未来でも、人と自然が共に栄えていくためには、これから多くの課題を解決していかなければなりません。

島の自然を守り未来を創るのは、私たちシマンチュです。

世界自然遺産登録後の 11 月上旬頃、この喜びをみんなで分かち合い、未来への決意を語りたいと、住民による住民のための祭り「宝ランド祭り」を計画いたします。

詳しい内容につきましては、８月頃より改めてご案内いたします。
お祭りを大盛会に導くために、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

徳之島虹の会スタッフ 2021 年 5 月 1 日現在

【役　員】

理事長　政武文　副理事長　松村博光
理事　行山武久　池村茂　美延治郷　豊村祐一
監事　鈴木章
社員　嶺田正秀　元田浩三　鈴木恵子　美延睦美
飯田克己　寛山一郎　関延代　常加奈子

【事務局】

事務局長　美延睦美
事務局　林恒夫　寛山一郎　関延代　常加奈子
美延優志　中林香奈代

▲ 2021 年 5 月 14 日 総会での 1 枚

編集後記

世界自然遺産登録計画は、長い準備期間と延期を繰り返しながら、ついに登録勧告となりました。

夕方の速報が流れてから電話やメールが鳴りっぱなしで、３日間対応に追われました。たくさんの祝福メッセージは、島の自然の価値が認められたことへの喜びと、私たちのこの１０年間の活動が、地域社会に認められている証だと思いました。

でもこれは、これまでたくさんの方々に応援していただいての成果です。

本会報誌をまとめるにあたり１０年分の記録写真をめくると、そこにあったのは、熱い思いと、深い愛と、つながり生まれた力でした。これまで支えてくださった全ての皆様へスタッフ一同、改めて厚くお礼申し上げます。

徳之島はやっとスタート地点に立ち、これからが本番です。私たちはこれからも、分かち合い、伝え、つながる活動を続けてまいります。

NPO 法人　徳之島虹の会
住所：大島郡伊仙町大字伊仙 2324-1
TEL/FAX：0997-86-3575
MAIL：shimaniji@gmail.com
HP：http://www.shimaniji.com/
Facebook:
https://www.facebook.com/Shimaniji.of.Tokunoshima/

会報誌特別号　2021 年5月吉日